

(様式第4号)

第5回上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	第5回上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	令和3年11月12日 午後2時00分から午後4時00分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階大会議室
4 出席者	丸山理英子会長、下倉亮一副会長、柿寫宣江委員、笠原邦正委員、柴田隆一委員、綿内美鈴委員、山浦和江委員、宮島範雄委員
5 市側出席者	城下市民まちづくり推進部長、佐藤人権男女共生課長、石田係長、松澤主査、真田市民サービス課若林係長、武石市民サービス課児玉係長、特定非営利活動法人 SCOP (委託事業者)
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年11月23日

協 議 事 項 等

1 開 会 (佐藤課長)
2 あいさつ (会長)
3 事務連絡 (事務局) 前回の委員会で出た、上田市男女共同参画推進条例に記載のある「直接的であるか間接的であるかにかかわらず性別による差別的取扱を受けないこと」という一文の、「直接的」「間接的」について説明する。まず、「直接的」差別とは、男女間でそもそも異なる取り扱いをすることで、「間接的」差別は、一見差別がないように見えるルールや取り扱いでも、運用した結果どちらかの性別が不利益になってしまう扱いのことを意味している。「間接的」差別の例として、正規職員と非正規職員の賃金差は性差別とは言えないが、実際には男性は正規職員、女性は非正規職員の割合が多く、結果として男女の取り扱いに差が生まれているということ等が挙げられる。 (会長) 以上、事務局から、前回出た意見について説明してもらったが、問題ないか。問題がなければ協議のほうへ進むこととする。
3 協議事項 (1) 第4次上田市男女共同参画計画素案について (ア) 基本目標1について説明 (事務局) (会長) 基本目標1について意見等あれば、お願いしたい。 (委員) 重点施策①の施策や進捗を管理するための指標 (以下、指標) に関して、「さんかく講座開催件数」や「オンライン講座・セミナーの開催件数」、「男性を対象とした家事・介護講座参加者数」があり、現状値の「1」を目標値「3」にするといった記載になっているが、果たしてこれで進捗を測ることが出来るのか、疑問に感じた。特に、「男性を対象とした家事・介護講座参加者数」について、現状値「1」を目標値「3」にするとの記載になっているが、この数値でよいのか。もし参加人数をしっかりと測るのであれば、様々な団体に呼びかけて、参加者を募ったうえで、参加人数の明確な目標を定めたほうがよいと思う。 (事務局) 今ほど意見の出た、「男性を対象とした家事・介護講座参加者数」という指標だが、「男性を対象とした家事・介護講座開催回数」の誤りであるので、訂正させていただきたい。ただ、意見にあったように、講座の回数をこなしたから男女共同参画への意識・啓発につながるというわけではないと思っており、事務局内でも、実際に参加した人にアンケートを取って、理解度や

満足度などを測った数値などがいいのか、参加者数や開催回数がいいのか、それとも他の測り方があるのか、まだ検討中なので、もし委員の皆様から何かいい指標の項目などあればご意見頂戴したいと思う。

(会長) 重点施策①の指標に関して、「さんかく講座開催件数」とあるが、「さんかく講座」について説明いただきたい。

(事務局) 「さんかく講座」は、人権男女共生課が開催している事業名で、男女共同参画に対する意識啓発を進めるための講座や講演会を行っている。

(会長) 事業名ということで理解した。その他、指標などに関して意見があればお願いしたい。

(委員) 先ほど出た意見と同じ意見だが、その他、重点施策②の指標に関して、「講座の理解度」という項目があるが、少ない参加者のうち、全員が理解したと答えたら理解度は100%になってしまうなど、なかなか指標の数値が取りづらいと感じた。また、理解の前進につなげる指標になっているかという観点からも、指標の数値や指標の項目は改めて検討したほうがよいと感じた。

(会長) 数値、項目含め、指標の設定が難しいと思うが、他にいかがか。

(委員) 私自身も指標の設定は難しいと感じるが、多くの人に男女共同参画について理解してもらうためには、多くの人に呼びかけ、参加してもらうことが一番なのではないかと思う。そもそも男女共同参画というのがわかりにくく、自分事に捉えてもらいづらいので、楽しく学習しながら男女共同参画について学んでもらい、考えてもらえる講座や講演会を企画してもらえたらよいと考える。なかなか男女共同参画の講座への参加を誘っても行かない人が多いと思うので、楽しく興味あることに結びつけながら学んでもらえるとよいと思う。

(会長) その他指標について意見があればお願いしたい。

(委員) やはり、参加者や回数を指標に入れるのは、不特定な部分があり、難しいと思う。もし人数や回数で指標を測るのであれば、元の母数をはっきりしているべきと思う。例えば、自治会を母数とすると自治会数の241が母数になり、アンケートを取ったとしても母数をはっきりしているので、経年での比較がしやすいと考えた。対象をはっきり決めることで理解度なども図れるのではないかと思う。

(会長) 数字に基づいて指標を定めていくのはいい考えだと思う。その他はいかがか。

(委員) 現状や課題を示す文章の中の言い回しにおいて、すごくわかりやすくまとまっていると思った。指標に関しては他の委員の皆様から意見が挙げられていたが、データとして継続して見ていけるように検討していただければと思う。全体的に見やすくなってよかった。

(委員) 文章に関する意見で、重点施策①の現状と課題と施策の方向性にある、「いかせる」というひらがな表記が、他のページでは漢字で「活かせる」と記載されていたので、統一していただきたいと思う。また、同じく重点施策①の現状と課題と施策の方向性の中の、「男性も女性も、家事も仕事もできる」という表現の仕方が気になった。

(会長) 言葉の表記については統一していただきたい。「男性も女性も、家事も仕事もできる」という表現については確かに難しいかもしれないので、検討いただきたい。加えて、重点施策①の現状と課題と施策の方向性に、「地域社会の維持発展につながる」という文章があるが、「維持発展」というより、「持続、発展」なのではないかと思ったので、検討いただきたい。また、重点施策①の関連データのタイトルに関して、「男性が女性とともに仕事、家事、子育て、介護、地域活動を積極的に行っていくために必要だということ」とあるが、選択肢に「育

児」という言葉が使われているので、タイトル内にある「子育て」という言葉を「育児」に統一してもらいたい。

指標については検討いただき、その他、ご意見なければ次の基本目標 2 の説明を事務局よりお願いしたい。

(イ) 基本目標 2 (重点施策④) について説明 (事務局)

(会長) 基本目標 2 の重点施策④について意見等あれば、お願いしたい。

(委員) 基本目標 1 に戻ってしまうが、見やすくまとまっていて、よいと思う。ただ、指標に関しては、意見が出ていたように、対象者を絞ることが必要なのではないかと思う。例えば、重点施策②に、『命の学級』の出前講座の理解度」や、「性教育に関する講座の理解度」という指標があるが、誰を対象としているのかわからなかった。児童・生徒を対象としていると思われるが、そうすると、保護者に対する指標がかけているのではないかと感じた。

(事務局) まず、「命の学級」というのは、健康推進課と産婦人科病院が主として行っている出前講座で、市内の小・中学校にて命について学習する機会となっている。そのことから、市内の小・中学校を対象とし、理解度を測る指標とした。次に、性教育に関する講座に関しては、子どもから大人、保護者までを対象としており、年代に応じた性教育の講座を行っていきたいと思っている。なお、教諭及び教職員に対する研修会は、学校において年に 1 回程度学校教育課を中心に行っているので、指標として図っていきたいと思う。保護者に対する何か学習の機会を設けるのであれば、講演会などの形で行いたいと思うが、指標に加えるかどうかは検討していきたい。

(委員) 用語に関して、理解できる言葉がほとんどであるが、横文字、カタカナなどのなじみのない言葉については、その用語のあるページの下に解説を入れていただけるとやはり見やすいかと思う。

(事務局) 意見を聞く中で、確かに一般の人にはなじみのない言葉があると思ったので、誰もが分かるように解説をページの下に入れることとする。指標に関しても、誰を対象としているのかわかるように、言葉を加えたいと思う。

(委員) 関連データに関して、「あなた自身が昇進するために必要なこと」として市職員アンケートの結果が掲載されているが、女性の参画を促進するといった施策の内容であることから、女性自身の意見を反映できるようにするためにも、性別に分けたグラフの方が分かりやすいと思った。

(事務局) 女性だけの数字を出すことは可能なので、性別で比較できるグラフに変更したいと思う。

(委員) 指標の中に記載のある、自治会長に占める割合に関して、目標値の「5%」という数字が高いのか低いのかわからないが、これでいいのか、目標値設定が難しいと感じた。また、自治会長だけではなく、意思決定に携わっている自治会三役に占める女性の割合を見てもいいのかと思った。

(会長) 指標に関して、「市職員の女性管理職の割合」のように、市が呼びかけることで達成できる目標は、指標としてよいかと思うが、自治会長に占める女性の割合は、市が呼びかけて達成できるようなことではないと、現実的に考えて思った。なので、意見が出たように、自治会三役の女性割合を見たほうが指標としていいのかと思った。市だけで決定するのは難しい指標に関しては、ご検討いただきたい。

(委員) 今ほど意見が出た「自治会長に占める女性の割合」という指標に関して、自治会長のだけの割

合を数値として見るのは違うと考える。自治会の構成として、自治会長、副自治会長、会計が自治会三役と呼ばれ、自治会を取りまとめる役割を担っている。なので、意思・方針決定の場を見るのであれば、自治会長だけではなく、自治会のとりまとめをしている自治会三役の女性割合を見た方が現実的ではないかと考える。また、母数もはっきりしているので、数値も取りやすいのではないかと思う。

(委員) 指標の中に、市職員の女性管理職の割合は記載されているが、一般企業などに勤めている女性に対する指標がないので、一般企業などに勤めている女性に向けたスキルアップ研修や講座の開催に関する指標を、入れることはできないのか。一般企業と言っても、大企業から中小、零細の企業まであり、興味はある方がいたとしても、なかなか参加する機会がないと思っている人がいるかもしれないので、そのような方を対象に、講座を設けるなどの具体的な目標を設定するのはどうか。

(事務局) 取組としては、施策の方向性と主な取組の「あらゆる分野の政策・方針決定の場における女性の参画促進」において、企業も含め研修や企業に向けた働きかけを行っていきたいと考えている。講座のやり方などは検討していきたい。

(委員) 企業によってはできないところもあるので、企業への働きかけなどはお願いしたいと思う。また、男女共同参画社会を実現させるためには、人権男女共生課が先頭に立ち、関係課と連携しながら、市職員が率先していけるように進めてほしいと思う。

また、自治会長に占める女性の割合は、自治会長にこだわらずに、自治会に参加する女性を増やしていくといったスタンスでもいいのかと思った。

(会長) 標記に関して、文中に記載のある年号は、西暦の方がみやすいのではないかと思った。グラフなどの年号も含め、西暦で年号を記載していただければと思う。次に、現状と課題と施策の方向性に記載のある、「若手のうちからキャリア教育、研修の実施」という言葉の、「若手のうちから」という表現に違和感があるので、「若いうちから」は「入庁早期より」などの言い方に改めていただきたい。また、「ポジティブ・アクション」の用語解説は入れていただきたい。

(委員) 指標に関して、目標値の根拠は何か教えていただきたいと思う。

(事務局) 審議会に占める女性の割合は、行政管理課が市の目標値として定めているもので、市職員の女性管理職の割合は、国が定める目標値となっている。ただ、自治会長に占める女性の割合はこれといった根拠はない。

(委員) 基本目標1に戻ってしまうが、学びの部分で、映画を活用した学びがあってもいいのではないかと考える。上田市が映画のまちと言われていることもあり、映画の活用をするのもよいと感じる。自分自身も、映画のストーリーの中に男女共同参画について考えさせられる時がある。市の担当課以外にも、市民の力も借りながら理解促進することもできるのではないかと思う。また、重点施策②の施策の方向性と主な取組の中で、「保育士・教諭及び教職員」との記載があるが、「教諭及び教職員」を「教員」という言い方にしてはどうか。

(事務局) 映画の活用は大変良いと思うが、担当課となると、市の担当課なので、具体的な内容の中に映画を活用できるような記載をし、市民と進められるような取組を検討したいと思う。

「教諭及び教職員」については、「教員」に修正したいと思う。

(委員) 重点施策②の現状と課題と施策の方向性の文章の中で、「役割分担意識などが根強く残る高齢者」という記載を、「役割分担意識などが根強く残る人々」などの言い方に変えていただきたい。

(ウ) 基本目標 2 (重点施策⑤) について説明 (事務局)

(会長) 基本目標 1 の重点施策⑤について意見等あれば、お願いしたい。

(委員) 関連データに関して、グラフの並び順を降順にさせていただきたい。

(会長) データに関しては、見やすくまとめていただければと思う。

(委員) 施策の方向性と主な取組に関して、「子育てや介護に関する支援の充実」の中の具体的な内容に関して、「介護を必要とする方々やその家族が安心して生活できる、介護サービスの充実と周知」とあり、その担当課が、高齢者介護課のみになっているが、障がいのある方の家族なども当てはまると思うので、障がいに関連する課も担当課に加えることはできないか。

(事務局) 障がいに関しては、障がい者支援課が担当になるが、担当課に含めるかどうかは検討する。

(委員) 施策の方向性と主な取組の「事業者表彰制度」の具体的な内容に記載のある「イクボス宣言」、「くるみん認定」などの用語は解説をお願いしたい。また「職業能力の開発や再就職支援」に関する具体的な内容の中に、「理工系などの女性の参画が進んでいない」という文章があるが「参画」ではなく「進学」ではないかと思うので確認させていただきたい。また、理工系の女性の進路選択に関わる部分の担当課は、人権男女共生課だけになっているが、教育委員会など教育関係の課は担当していないのか、確認をお願いしたい。

また、施策の方向性と主な取組の「育休・介護休暇等の企業制度・ワーク・ライフ・バランスの推進」の説明文で「企業が制度を社内に浸透させるための取組を強化することが必要」との記載があるが、「企業」というと限定されてしまうと感じた。

また、施策の方向性と主な取組の「子育てや介護に関する支援の充実」の説明文で、「共働き世帯の増加に伴い、育児・介護にかかる家庭の負担が大きくなっている」と記載があるが、説明があいまいだと感じたので、書き方を見直してほしい。

もう一点、施策の方向性と主な取組の「子育てや介護に関する支援の充実」の具体的な取組で「市のホームページ及び子育てポータルサイトを活用し、子育てに支援に関する情報の発信」とあるが、「子育てに」の「に」は不要かと思う。

(事務局) 言い回しに関しては、事務局でもう一度見直したいと思う。特に、「共働き世帯の増加に伴い、育児・介護にかかる家庭の負担が大きくなっている」という文章に関しては、共働き世帯が増えており、また、共働き世帯の多くで、女性に育児や介護などの家庭の負担が大きくなっているということが、伝わる文章に直したいと思う。

(会長) 重点施策の目指す姿に関して、「女性も男性もやりたい仕事と生活のバランスが理想的に取れている状態を目指します」と記載されており、これまで「男性」「女性」という順番での書き方だったが、ここで「女性」を先に記載した事務局の意図を教えてください。

文中の「うかがえる」「あげる」「かんする」「かかわる」というひらがな表記を漢字にさせていただきたい。もしくは他ページと統一させていただきたい。

また、施策の方向性と主な取組の「職業能力の開発や再就職支援」の具体的な内容に関して、「女性が積極的に方針決定過程へ参画できるよう、女性ロールモデルの紹介」とあるが、具体的にはどういうことなのか教えてください。

(事務局) 「男性」「女性」の記載の順番に関して、重点施策⑤では、女性に焦点をあてた施策となっているので、あえて順番を先にしている。また、漢字にするかひらがなにするかは検討して統一させる。

(事務局) 女性管理職のロールモデルに関しては、何年か前に信州大学が行った産学連携イベントで公民館長や企業の管理職の方々に登壇してもらい、その中でこれまでの経験談などを話していただいたことがあった。そのような機会を設けることで、積極的に女性が意思・方針決定の場に参画してもらう契機になるのではないかと思い、取組として実施していきたいと考えている。

(ウ) 基本目標3について説明(事務局)

(会長) 基本目標3について意見等あれば、お願いしたい。

(委員) 重点施策⑥の施策の方向性と主な取組の「あらゆる暴力の根絶に向けた意識啓発」の具体的な取組の中で、「子どもに対する暴力・虐待防止の意識啓発(性暴力)」とあるが、性暴力がカッコの中に入っている意味はあるのか。「暴力」という言葉の後に、カッコを外した「性暴力」の言葉を加えたらいかがか。

また、同じく重点施策⑥の施策の方向性と主な取組の「危機的な状況にある人や暴力を受けた人への支援・相談体制の構築」の具体的な内容の「被害を受けた子どもに対する支援」の担当課に関して、「子育て・子育て支援課」でよいと思うが、精神的なサポートなどは、どこが行うのか教えていただきたい。もし医療面的なサポートとして、産婦人科病院が該当するのであれば、担当課に加えていただきたいと思う。

(事務局) 文章の言い回しに関しては修正させていただきたい。担当課に関しては検討する。

(委員) 重点施策⑦の指標の目標値がないことについて説明いただきたい。また、重点施策⑧施策の方向性と主な取組の「生涯にわたる男女の健康支援の推進」の具体的な内容として、「男性を対象にしたリタイア後の生活を考えるための講座の開催」と記載されているが、「リタイア後」という言い方は見直していただきたい。

(事務局) 重点施策⑦の指標の目標値に関しては、担当課の子育て・子育て支援課に照会をかけているところなので、確認でき次第掲載する。「リタイア後」といういい方は修正する。

(委員) 重点施策⑦の指標に関して、相談件数を指標にするのはいかがか。

(事務局) 相談件数は減らしていくことを目標にするものなので、指標にするのは難しいと考える。

(委員) 具体的な内容として相談窓口の周知などを行っていくのであれば、何か指標として、数値で見えるとよいかと思う。

(事務局) 何かの形で数値として見えるように検討したい。

(委員) 重点施策⑧の関連データに関して、健康でいるためには、健康寿命を延ばすことが重要と思うので、健康寿命のグラフも掲載いただきたい。

(事務局) 健康寿命のグラフは掲載する。

(委員) 重点施策⑦の文章中に、「母子家庭」「母子世帯」と2つの表現の仕方があるので、言い方を統一していただきたい。

(事務局) 言い方は統一させる。

(委員) グラフの並び順は降順でお願いしたい。

(会長) 重点施策⑥の課題解決に向けた主な取組の、「危機的な状況にある人や暴力を受けた人への支援・相談体制の構築」に記載のある具体的な内容に関して、「関係機関と緊密な連携を図り、相談機能やその他の援助機能の支援体制の充実」については、「の」が多い気がするので、言い回しを検討いただきたい。他のページにおいても「の」の重複があるので、見直していただ

きたい。また、グラフの年号の表記の仕方は統一していただきたい。

重点施策⑧の現状と課題と施策の方向性の中で、平均寿命に触れている文章があるが、いつの時点のものか、記載していただきたい。

(委員) この計画自体、誰を読むことを想定しているのか改めて教えていただきたい。

(事務局) 市の職員はもちろん、市として男女共同参画計画で何を取り組んでいくのか、市民にも理解していただくために策定している。

(委員) グラフの年号の話があったが、行政の表記に従って記載していただければよいかと思う。

(事務局) 基本的に併記していきたい。

(2) その他

- ・次回委員会は、令和4年1月14日(金)14時～開催
なお、11月19日～12月20日までパブリックコメントとする。

4 閉 会 (佐藤課長)